

令和6年度

事業報告書

特定非営利活動法人 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

1 事業の成果

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【5962】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
原爆被害の実相・原爆体験・原爆被害者運動などの記録・資料の調査、収集、整理、保管事業	昨年度末に愛宕事務所の取り壊しに伴い南浦和と中野の生協都連に引っ越した不定形史料や、新たな寄贈書籍、未整理の書籍・冊子類の整理・保管・目録作成の作業を継続的にすすめています。	2024/4/1～ 2025/3/31 52日	南浦和資料室、 東京都生協連会館	運動史料・写真、書籍の整理、目録作成、延べ111人	学生・院生、研究者、一般市民、被爆者、報道関係者	不特定多数	1,326
原爆関連資料の収集、保管に取り組む諸団体との共同ネットワークの構築事業	全国各地で被爆の記憶と被爆者運動の足跡を継承する拠点づくりを支援するため、県代表者らから情報収集を行い、新年度から長野をはじめ現地に赴いて資料保存に協力するための調査を行いました。 平和のための博物館市民ネットワーク全国交流会にてオンライン展開の強化を報告、新たなネットワークを構築しました。	2024/5/14 2024/11/30 2024/12/1	茅野市 江東区総合センター	4人 2人	学生・院生、研究者、一般市民、被爆者、報道関係者 平和のための博物館関係者、一般市民	不特定多数 不特定多数	280
原爆被害者運動関係の調査・研究事業	2017年度から史料整理作業に携わっている昭和女子大学の戦後史プロジェクトが、本年も学園祭で史料研究の成果を展示。初めて被爆者運動の生史料を中心とした今回の展示は、定期的に日本被団協のノーベル平和賞受賞直後に重なり、多くの人びとの関心を集めました。 「原爆被害者の基本要	2024/11/9～ 11/10 2024/11/23～	昭和女子大学 四谷プ	20人 20人	被爆者、学生・院生・研究者、報道関係者、一般市民、 被爆者、	不特定多数 不特定	87

	求」策定 40 年、その内容の現代的意義を広く知らせる会（展示とシンポジウムを）を日本被団協や昭和女子大学戦後史プロジェクトと協力して開催しました。 日本被団協のノーベル平和賞受賞に伴い、同代表団派遣を支援、また、受賞報告会を開催しました。	11/24 2024/11/15～12/15 2025/2/1	ラザエフ ネット 上谷 ラザエフ	5 人 10 人	学生・院 生・研究 者、報道 関係者、 一般市 民、被爆 者、一般 市民、報 道関係者	多数 不特定 多数	
原爆資料の活用・普及及び若い人々へ活動参加を促す企画・イベント・情報提供・出版事業	「未来につなぐ被爆の記憶」プロジェクトではボランティアが、「一緒に考えよう！これからの継承のカタチ」をテーマに10月～3月に6回イベントを開催しました。	2024/10/6, 11/24, 12/22, 2025/1/19, 2/23, 3/30	オンライン	のべ 44 人	イベント参加者をはじめ、一般市民、被爆者、学生、研究者	イベント参加者 61 名をはじめ、「全国証言マップ」SNSでの情報提供など関心を持つ不特定多	
	「全国証言マップ」へ新たに2名の方の体験記を掲載、11月に全国証言マップ掲載の体験記を朗読するイベントを開催、イベントの参加者に「全国証言マップ」の活用を呼びかけました。 会を紹介するリーフレット、オンライン・ミュージアムのチラシを増刷して各所に配布、広報しました。	2024/4/1 ～ 2025/3/31	オンライン、全国各所	5 人	一般市民、被爆者、学生、研究者	不特定多数	
	被爆・戦後 80 年のイベントを企画、被団協をはじめ諸団体と、開催のための事務局を組織しました。	2024/10/18～	オンライン、四谷プラザエフ、他	30 人	一般市民、被爆者、学生、研究者 報道関係者	不特定多数	1,113
	長崎地球市民フェスに参加し、本会オンラインメディアを活用するワークショップを開催しました。	2024/11/23～11/24	長崎スタジアムシティ	2 人	長崎市民、被爆者、学生、研究者 報道関係者	不特定多数	
	本会を紹介するリーフレットの英語版チラシを作成し、ノーベル平和賞授賞式の開催地オスロで配布、広報しました。	2024/12/6 ～ 12/15	ノルウェー王国オスロ市	5 人	授賞式参加者、オスロ市民、被爆者、報道関係者	不特定多数	
	核兵器をなくす国際市民フォーラム（於：聖心女子大学）に参加、本会オンラインメディアを活用する分科会を開催、また被団協の足跡のパネル展示を行いました。	2025/2/8 ～ 2/9	聖心女子大学	10 人	一般市民、被爆者、学生、研究者 報道関係者、海外からの参加者	不特定多数	

	核フォーラムを、反核法協と共同開催し、「核兵器禁止条約第3回締約国会合の成果と課題」を検討しました。	2025/3/20	四谷プラザエフ	2人	一般市民、研究者、法曹関係者	不特定多数	
恒久的な公共機関「ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産資料館」の設立事業	東京都生協連会館に収納した資料の一部や新たに制作したパネル、リーフレット等を、同館ロビーに展示コーナーを特設し、閲覧を開始しました。	2024/4/1～	東京都生協連会館	5人	生協関係者、一般市民	不特定多数	1,884
	昨年度開設した NO MORE HIROSHIMA & NAGASAKI MUSEUM（オンライン・ミュージアム）を使用して原爆被害の実相と被爆者運動の歴史を学べる場（オンライン継承センター的な）の展開に取り組みました。	2024/4/1～	オンライン	5人	一般市民、被爆者、学生、研究者報道関係者		
	所蔵資料の電子化（スキャニング、マスキング）作業をすすめ、各都道府県の被爆者団体が作成した被爆証言冊子を、デジタル・アーカイブズとしてオンラインでの公開を開始しました。	2024/8/1～	オンライン	のべ60人	一般市民、被爆者、学生、研究者報道関係者		
会の活動状況や原爆資料に関するニュース発行、HP開設の広報事業	『ノーモア・ヒバクシャ通信』の発行。	ノーモア・ヒバクシャ通信 3回発行（9/66号、11/1467号、2/168号）	四谷事務所	のべ50人	会員、一般市民	紙媒体は毎回450～500人	1,270
	本会の活動を伝える Web サイトの多言語化に着手、先ず日英二ヶ国語化を達成しました。	2024/12/15～2025/3/30	四谷事務所及びオンライン	5人	全世界の不特定多数	不特定多数	
	さらにトップページを見易く、各コンテンツにアクセスし易くするための改修作業に着手しました。	2024/12/15～	四谷事務所及びオンライン	5人	全世界の不特定多数	不特定多数	
	未来につなぐ被爆の記憶プロジェクトの全国証言マップのサーバ移転に併せてソフトウェアの入力インターフェースの簡易化改修作業に着手しました。	2025/2/10～	四谷事務所及びオンライン	8人	全世界の不特定多数	不特定多数	
	Web サイト、X、Facebook によるお知らせや活動報告の発信	随時	オンライン	3人	不特定多数	不特定多数	

	本会会員をさらに広げ、より広範な人びとが集えるオンライン上の場としてのメールマガジンの 2025 年度発刊に向けてスタッフを集め、レシピエントリストを作成しました。	2025/3/27～	四谷事務所及びオンライン	3 人	会員、今までの本会活動参加者、支援者	500 人	
--	---	------------	--------------	-----	---	-------	--

(2) その他の事業		(事業費の総費用【 】 千円)				
定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)	
なし	なし					

令和6年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

(単位：円)

科 目		金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1 受取会費			2,488,000
正会員受取会費	1,280,000		
賛助会員受取会費	528,000		
賛助団体受取会費	680,000		
2 受取寄附金			10,644,180
一般募金	10,621,180		
継承センター設立募金	23,000		
3 受取助成金等			400,000
連合・愛のカンパ	400,000		
4 事業収益			2,000
DVD「声が世界を動かした」頒布	1,000		
DVD「原爆は人間として生きることも死ぬことも許さなかった」頒布	1,000		
5 その他の収益			166
普通預金利息	166		
経 常 収 益 計			13,534,346
【B】 経 常 費 用			
1 事業費			
(1) 人件費			2,644,332
給料手当	1,990,220		
通勤費	171,713		
法定福利費	125,899		
活動費	356,500		
(2) その他経費			3,318,224
DVD頒布原価	1,484		
業務委託費	832,778		
印刷製本費	20,000		
会議費	12,999		
旅費交通費	153,866		
通信運搬費	891,543		
消耗品費	74,606		
水道光熱費	13,574		
賃借料	196,031		
広告宣伝費	21,332		
新聞図書費	2,210		
減価償却費	858,611		
史料保管料	188,100		
支払手数料	9,220		
雑費	41,870		
事業費計			5,962,556
2 管理費			
(1) 人件費			2,401,556
給料手当	2,049,700		
通勤費	169,466		
法定福利費	26,390		
事務局活動費	156,000		
(2) その他経費			1,013,524
印刷製本費	13,450		
会議費	23,498		
旅費交通費	14,988		
通信運搬費	290,959		
消耗品費	235,380		
広告宣伝費	30,035		
接待交際費	275,000		
支払手数料	20,214		
管理諸費	110,000		
管理費計			3,415,080
経 常 費 用 計			9,377,636
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①			4,156,710
【C】 経 常 外 収 益			
過年度損益修正益			10,000
経 常 外 収 益 計			10,000
【D】 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計			0
当 期 経 常 外 増 減 額 【C】－【D】・・・②			10,000
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 ①＋②・・・③			4,166,710
法人税、住民税及び事業税・・・④			140,000
前期繰越正味財産額・・・⑤			10,569,752
次 期 繰 越 正 味 財 産 額 ③－④＋⑤			14,596,462